市長と語ろう！ほっとおしゃべり会@小山公民館　結果概要

日　時　令和８年１０月１３日（火）午後２時～３時１５分
場　所　小山公民館
参加者　市民　３名

結果概要
１　あいさつ（市長）

２　趣旨説明（事務局）

３　災害時の避難行動と新たな気象情報について説明（市長）
①質疑
参加者：今回の大雨では、夜中に避難情報が発令された。大野市がレベル３の段階から早めに情報を発信したことはよかった。レベル５の通知音は、ほかのレベルと違って聞こえた。
市長：災害情報は、早めに発信することが重要である。気象情報は発表方法や予測技術が改善され、以前より細かな範囲で危険度を把握できるようになっている。市としても、必要な情報を適切なタイミングで発信することを重視している。早めの情報発信を評価していただけたことはありがたい。
通知音は、アプリなどによって異なるのかもしれない。
参加者：大地震の時の避難所は旧小山小学校となっているが、耐震化されているか。また、冷暖房設備についてはどうか。
市長：旧小山小学校は耐震済みである。学校施設の耐震化は順次進めてきた。冷暖房については、開成中学校と陽明中学校の体育館が工事中で冬に完成予定。小学校でも有終南、富田、下庄の体育館の設計を行っている。

４　意見交換（フリートーク）
①　農業振興等について
参加者：市長のふるさと安城市は日本のデンマークと習ったことがある。農業や酪農が盛んな地元のノウハウなど大野市に取り入れられないか。
市長：安城市は日本で初めて引かれた明治用水があり、土地改良のはしりで、荒野を切り開いたことが有名。９割が米作り。温暖なので、園芸も強く、レモンなどの実も育てている。大野市は農地や用水などの基盤整備が進み、米作りが盛んな地域である。小山地区も集落営農が早くにされたと聞いている。今後は米作りに加え、園芸などをどう伸ばしていくかも重要になる。ＪＡなどを通して先進地視察を行ってみたり、中部縦貫自動車道が開通すれば、バスツアーで地域間交流などを行ったり、そのようなきっかけを作っていけるとよい。

②旧小山小学校の跡地活用について

参加者：小山小学校が有終南小学校と統合した後、小山小学校の跡地をどのように活用するのか。放課後の子どもの居場所として利用する話も聞いているが、現在の進捗状況を教えてほしい。

市長：小山小学校の跡地については、放課後の子どもの居場所として一部を活用する方向で、設計や工事に向けた調整を進めている。学校から集落センターといった別の用途に変更する場合は、建築基準などの整理が必要となる。施設全体の活用方法についても、地域の意見を聞きながら検討していく。

参加者：今月旧小山小学校の活用について、区長会や体育協会など各団体で構成された協議会が始まる。

市長：国際情勢のこともあり、原材料費が高騰しているため、必要な資材などが入りづらい状況で、工事も遅れがちになっているが、期限内に工事が完成するよう動いている。

② 地域のコミュニティや教育環境等について

参加者：今日の参加者が少なく少し残念。いろんな世代の声を聞いてみたかった。小山食堂に携わっている。コロナ前から行っており、いろんな年代が交流していたが、コロナ後、弁当に変えてから、家に持って帰って食べる人が増えてしまったが、現在もここで食べることを楽しみにしている人もいる。公民館の厨房が手狭であるため、小山小学校の厨房を使用できるとありがたい。

小山小学校のときは、ふれあいの農園があり、児童がそこで野菜を育てていた。有終南小と統合してからも、農園を利用してもらいたい。これからも小山地区をよくしていこうと思っている。

市長：私と直接話せる機会であるので、この会もこれから育っていくといいなと思っている。乾側地区のときも参加者は３人であった。しっかりお話することができ、３人とも満足して帰られた。

参加者：人数が少なくても、行政にこの声が伝わればよいと思う。

有終南小学校と統合して、旧小山小学校と比べてどうかと児童に聞いたら、給食は旧小山小学校のほうがおいしいと言っていた。

市長：学校施設について、子どもたちに居心地がよいと思ってもらえるよう、玄関を広く明るくしたことや黒板をホワイトボードに変えたことなど改修を行っている。

④移住・定住について

参加者：子育て支援をはじめ、若い人や移住してきた人が大野市に住み続けたいと思える目玉施策があってもよいのではないか。

市長： 若い人が住み続けてくれるには、お金をあげるより、大野の良さを継続して伝えていく必要がある。

参加者：他の地域では、英語の学習に力を入れるなどして、移住者が増えたという事

例を聞いたことがある。大野市でもとがった施策を行ってみてはどうか。
また、勝山市は恐竜をＰＲしている。大野市は天空の城、星空、水とあるが、どれを推しているのか伝わりづらい。また、宿泊施設が少ないこともネックとなっている。

市長：市としては、「天空の城越前大野城」、「九頭竜・恐竜化石」、「北陸最大級の道の駅越前おおの荒島の郷」、「日本一美しい星空六呂師高原」の４つをメインとしている。10 日、11 日の土日も六呂師でフェスがあり、多くの方に来場いただいた。中部縦貫自動車道が開通したときに、大野市が目的地として選ばれるようこの４つをＰＲしていく。

参加者：天空の城ブームは一段落した感じがする。大野市は観光客がお金を落とすところが少ない。まちなかの風情もなくなりつつある。また、バスツアーも今年は少ない。

市長：昨年の国道 158 号の土砂崩れがバスツアーの減少に影響している。こうした影響も踏まえながら、引き続き情報発信は続けていく。

⑤大野出身のアスリートについて

参加者：市外で活躍する大野市出身のスポーツ選手を、市民みんなで応援する仕組みがあるとよいと思う。行政がもっと積極的に働きかけられないか。

市長：市は垂れ幕や横断幕などを庁舎に掲げたり、表敬訪問で激励したりと積極的に行っている。理想は、地元や民間の後援会などが主体となって応援することである。今年は全国大会出場者が特に多いと感じている。

５　閉会